

## 君の名は。5（聖地裏解説）

### カトリック麹町聖イグナチオ教会



#### しくみ

- 宮中三殿 1.75km - 麹町聖イグナチオ教会 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - ニコラ・バレ修道院 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - 東京中華学校 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - 日中友好会館 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - (株) パソナグループ 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - パソナ八重洲ビルディング 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - 教文館（聖書館） 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - 和光本館 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - ナイジェリア大使館 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - ホテルオークラ東京 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - 勝海舟邸宅跡 1.75km
- 宮中三殿 1.75km - TBSテレビ 1.75km



## 中心

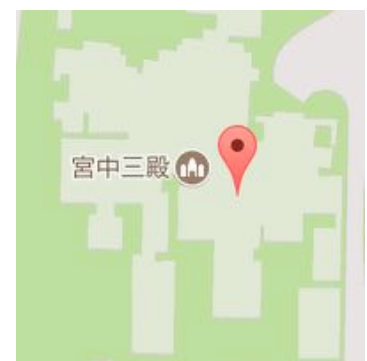
### 宮中三殿賢所

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる神嘉殿（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神樂が行われる神楽舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治5年4月2日（1872年5月8日）に整ったと解されている。

**賢所**には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われた。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。

なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。

東京都千代田区千代田1-1



## 同距離

### カトリック麹町聖イグナチオ教会

カトリック東京大司教区の教会およびその聖堂である。イエズス会に運営を委託されており、上智大学に隣接する。

1912年（明治45年）7月25日より東京大司教区の司教（教区長）に就任したジャン・ピエール・レイは、東京の要所に土地を購入し、聖堂建設の準備をした。1928年（昭和3年）6月3日、購入した麹町区下六番町38（現在の千代田区六番町10-1）の土地（約800坪）に、公教青年会会館が完成する。1933年（昭和8年）同敷地内に、カルメル修道会から来日する修道女を迎え入れるため、仮修道院及び聖堂が完成した。カルメル修道会は、1935年（昭和10年）1月に板橋区上石神井町に移転したため、仮修道院はマリアの宣教者フランシスコ修道会の修道院として使用されることになり、建物は改造・増築され、聖堂は教区教会としての機能を持つようになった。翌1936年（昭和11年）3月22日、当時の東京大司教区司教ジャン・アレキシス・シャンボンによって祝別式が行われ、麹町聖テレジア教会が誕生し、田口芳五郎が初代主任司祭に就任した。

麹町聖テレジア教会は上智大学に近いこともあり、設立当初からイエズス会の協力を受けた。1941年（昭和16年）にイエズス会員の大泉孝が主任司祭に就任すると、1940年（昭和15年）11月に上智大学総長を辞任していたヘルマン・ホイヴェルスは、教会司祭館に隠棲して司牧にあたった。

第二次世界大戦中の1944年（昭和19年）末、聖堂は建物強制取り壊しの通知を受け、空家同然となっていたが、翌1945年（昭和20年）5月25日の東京大空襲により聖堂は焼失し、ホイヴェルスは上智大学の修道院に戻り、当時の東京大司教区司教であった土井辰雄の許可を得て、上智大学のクルトゥルハイム聖堂でミサを行なうようになった。

1947年（昭和22年）春、上智学院は、焼け野原となった千代田区麹町6丁目1番地から9番地の土地（約7300坪）を購入し、同年7月には、上智大学の大学校舎内の講堂が修復され、この講堂でミサを行うようになった。また、この年にローマ教皇庁より復興資金が送付され、土井辰雄は資金のうち、20,000米ドルを麹町教会の再建に割り当てたが、この資金では足りず、再建計画を見直すこととなった。この時、駐日教皇使節のパウロ・マレラ（イタリア語版）は、土井と上智学院長であったイエズス会員のブルーノ・ビッテルを招き、麹町教会の再建をイエズス会に委任する案を提示した。土井はこの案に同意し、同年8月26日、麹町小教区の司牧がイエズス会に委託された。翌1948年（昭和23年）5月22日には、教皇庁から「パリティチア・レリギオザ・ペルマネンツ（永久に修道会に委任された教区教会）」として承認された。

新教会は、1947年（昭和22年）12月2日に着工、1年4ヶ月に渡って工事が行われ、1949年（昭和24年）4月17日に土井辰雄により献堂式が行われた。教会堂名は設計担当の名前と、イエズス会の創立者イグナチオ・デ・ロヨラに因んで「聖イグナチオ」と命名された。

聖堂の老朽化と狹隘化により、1998年（平成10年）1月、新聖堂の第1期工事が完成し、1月10日、11日に遷堂式が行われた。1999年（平成11年）4月6日には第2期工事が竣工し、現在の教会が完成した。2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災により、鐘楼の十字架がぶら下がった状態となったが、翌2012年（平成24年）に修復された。

東京都千代田区麹町6丁目5-1



## ニコラ・バレ修道院

1872年（明治5年）、「キリシタン禁制の解かれる希望が見えてきた。今すぐ宣教女に来てほしい」というプチジャン司教からの要請に応じて、メール・マチルドと4名のシスターが、ヨーロッパ人宣教女として初めて日本の土を踏みました。彼らは、多くの苦難を乗り越えながら、横浜山手で、貧しいうち捨てられた子どもたちを世話し（仁慈堂のちの董学院）、「教え育てる」仕事を始めました。これが日本での宣教の始まりです。東京都千代田区六番町1-4-4



## 東京中華学校

中華民国（台湾）系の中華学校である。法的には一条校ではなく、外国人学校（各種学校）である。小学部、中学部、高中部（＝高等部）があり、小中高一貫校である。長らく財団法人であったが、2008年10月より学校法人に移行した。

1929年 東京市小石川区の中華聖公会跡地に「東京華僑學校」として開校。

1937年 盧溝橋事件勃発、日中戦争により教員帰国、学校閉鎖。その後、爆撃により校舎消滅。

1946年 中央区立京橋昭和小学校（現・区立城東小学校）の校舎を借りて復校、「東京中華學校」に改名。

1948年 東京都千代田区に校舎移転。

東京都千代田区五番町1-4



## 日中友好会館

日中友好7団体の一つ。元外務省アジア大洋州局中国課所管。1937年12月 旧「満州国」日本留学生寮として旧「満州国」政府抛出の財団法人満州国留日学生補導協会が満州国留日学生会館を建設。

同協会が日本敗戦により事業遂行が不可能となって解散、建物などは一時外務省管轄となる。

1953年5月 財団法人善隣学生会館が設立され、満州国留日学生補導協会の残余財産と学生寮運営事業を引き継ぐ。建物の一、二階は貸部屋、三、四階は学生寮だった。

1967年2、3月 善隣学生会館事件起こる。

1978年8月 財団法人善隣学生会館が財団法人日中友好会館に改組される。

1984年 善隣学生会館建物取り壊し、日中友好会館建設開始。

1985年3月 別館完成（日中学院、後楽寮）

1988年1月 本館完成（美術館、大ホール、後楽賓館、事務局）

2012年4月 公益法人制度改革に伴い「公益財団法人日中友好会館」へ移行  
現在の日中友好会館は、付設事業として日中学院（中国語教育および中国人



向け日本語教育)、後楽賓館、美術館も経営する。日中学院の運営は実質的に学院の自治に任されている。後楽賓館は中国人向けホテルで、職員はすべて中国語を解する。日本人も宿泊できるが、中国人よりやや価格が高い。東京都文京区後楽一丁目5番3号

### (株) パソナグループ

1976年2月 - 大阪市北区に、人材派遣事業を主業務として株式会社 マンパワーセンターを設立。

1979年 - 株式会社 テンポラリーセンターに改称。

1980年8月 - 中高年向け就業支援を主とする子会社として、株式会社エルダーマネジメントセンターを設立。後に同社は、2011年7月現在のランスタッド株式会社となる。

1986年7月 - 労働者派遣法の施行により、一般労働者派遣事業許可を取得。

1999年12月 - 「(旧)株式会社パソナ(現・南部エンタープライズ)」と、「株式会社パソナサンライズ」の2社、東京都千代田区一ツ橋に本社を移転。

2000年 - 旧パソナより労働者派遣事業を譲受し、株式会社パソナに改称。

2001年12月 - 大阪証券取引所 ナスダック・ジャパン市場(現 ヘラクレス)に上場。

取締役会長の竹中平蔵氏の利益誘導問題がある。

東京都千代田区大手町2丁目6-2 日本ビル



### パソナ八重洲ビルディング

東京都中央区八重洲2丁目3

### 教文館(聖書館)

株式会社教文館は1885年(明治18年)キリスト教の出版社・書店として創業しました。銀座に店を出したのは1891年です。それ以来、中央通りに面した老舗書店としてお客様に親しまれてまいりました。現在は、「子どもの本のみせ ナルニア国」(6階)、カード・グッズ類を扱う「エインカレム」(4階)、「Cafeきょうぶんかん」(4階)など、多階層にお店を展開しております。

東京都中央区銀座4丁目5-1



### 和光本館

1881年12月、服部金太郎が「服部時計店」(現:セイコーホールディングス)として創業。1947年4月に小売部門が独立し、現在に至る。終戦直後は進駐軍向けのPX(基地内売店)として機能していた。1894年にできた服部時計タワーは現在の和光がある場所に立っていたが、1921年に改築のために取り壊された。現在の和光本館として使われているネオルネサンス調ビルディング(渡辺仁設計)は、関東大震災後の1932年に「服部時計店ビル」として建てられたものである。時計台はカリヨンを備え、毎正時(2012年からは3月11日14時46分に、東日本大震災の犠牲者を悼んで特別に11回、その1分後に2回)、有名な「ウェストミンスター」の時数分のゴングを鳴らしている。2008年にセイコーホールディングスから20億5000万円の増資を受ける。セイコーHDによれば、2010年時点において17億円の債務超過の状態にある。東京都中央区銀座4-5-11



## ナイジェリア大使館

東京都港区虎ノ門3丁目6-1



## ホテルオークラ東京

大倉喜八郎の長男で大倉財閥の二代目である大倉喜七郎によって設立された。公職追放により帝国ホテルを離れた大倉は、日本国憲法の制定により、華族としての待遇も奪われる。しかし、国内屈指の工芸家たちへ日本の美を以って諸外国の貴賓を迎えるホテルの理念を熱心に説き、その協力を得てホテルオークラを開業させた。明治以降の日本に存在したであろう貴族の精神を証明するという野心と「最後の男爵」としての意地により、「帝国ホテルを超えるホテル」をコンセプトに設立されたホテルである。

東京本館が大倉邸の敷地に、別館は日本航空の創業者である松方邸の敷地を利用して作られた。初代社長は野田岩次郎。また、敷地内には日本の私立美術館の草分けである「大倉集古館」（1917年（大正6年）8月開館）があり、大倉家の蒐集物を博覧に供している。

東京都港区虎ノ門2丁目10-4



## 勝海舟邸宅跡

幕臣・勝海舟の旧宅跡。勝は、安政6年（1859年）から明治元年（1868年）までをこの地で過ごした。

文久2年（1862年）12月、土佐脱藩浪士の坂本龍馬が、前福井藩主・松平春嶽の紹介により、勝に面会するためにこの地を訪れた。その人物に心酔した龍馬はその場で弟子入りを志願した。

慶応2年（1866年）、倒幕勢力に追い詰められてきた幕府は、勝を軍艦奉行に起用。第二次長州征伐の停戦交渉を任された。そして勝は、幕府の終焉を迎える最後の段階で、東征大総督府参謀の西郷隆盛と会談、江戸城無血開城を実現させた。

東京都港区赤坂6丁目2-17-47



## TBSテレビ

1955年4月1日、日本国内の民間放送テレビ局として2番目に開局し、同時に東京で唯一のテレビ・ラジオ兼営局となった（2001年に分社化）。当時のラジオ東京はニュースネットワーク（JNN）を形成するにあたって新聞色の払拭を進めたことで、多くの地方局をJNNへ取り込むことに成功し、強力な報道体制を確立した。

名誉毀損・報道被害、偏向的・作為的な報道・演出、捏造・やらせ・誤報、収録中の事故、不適切な表現・取材など枚挙にいとまがない。

東京都港区赤坂5丁目3-6





### 備考

もう一つ気になっていた聖地が、JR四ツ谷駅前のデート待ち合わせシーン。上智大学のビルの脇にイグナチオ教会の十字架の鐘楼塔が描き込まれている。実際にそこから見えるのは同じライン上のニコラ・バレ修道院。イエズス会は、織田信長の時代から日本を操ってきた。調べてみると、やはり巨悪とつながった。利益誘導竹中平蔵の派遣会社パソナ。しかもニヶ所。そして偏向報道や政府の御用テレビのTBS。伊藤詩織さんレイプした山口敬之も元TBS記者。



■ 麴町聖イグナチオ教会 - 宮中三殿 1.75km- 聖パウロ女子修道会 1.75km



**聖パウロ女子修道会**

女子パウロ会は、1915年にイタリアのアルバで創立されたキリスト教 カトリック の女子修道会。聖パウロ修道会とは姉妹会にあたる。日本では1948年の8月6日から活動。聖パウロ女子修道会はもう一つの公式名称。キリスト教関係書籍の出版・社会的コミュニケーションのために創立される。1949年、聖パウロ修道会が文化放送を設立し、1956年まで運営に携わっていた。

東京都港区赤坂8丁目12-42



**備考**

カトリック同士でつながった。